

心をつなごう 私たちのまち みんなで創ろうあびらのまち



新たなネットワークづくりを目指し、地域ネットワーク会議を開催
10月5日、今年で7回目を迎えた『地域ネットワーク会議』が早来町民センターで開催されました。昨年発足した地域見守りネットワーク協力員、自治会・町内会や介護保険事業所職員、地域住民など170人余りが参加。
北海道認知症グループホーム協会会長宮崎直人氏の「認知症と人への接し方で大切にしたいこと」をテーマとした

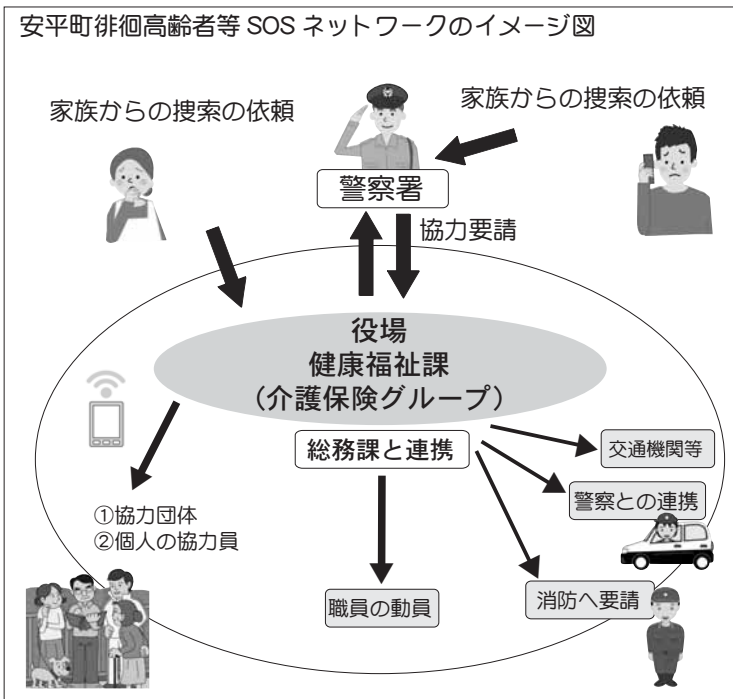
基調講演のあと、徘徊模擬訓練の実施。その後のグループワークにおいて、感想や課題について活発に意見交換が行われました。

町では、今年度からGPS機能付の携帯電話を貸与し、徘徊高齢者等の行方不明者を位置情報システムによる搜索、徘徊者の位置情報（所在地）を提供する事業に取り組みますが、今回の徘徊模擬訓練ではこれらを活用した訓練も実施し、徘徊者の搜索や声かけ、保護の難しさを体験しました。



徘徊模擬訓練

平成24年12月から 安平町徘徊高齢者等 SOS ネットワークを開始します



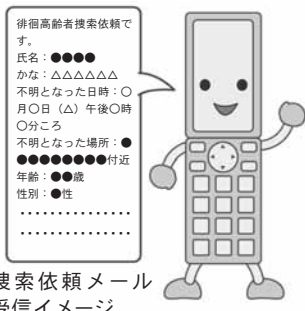
ネットワークの仕組み

左の図のように、徘徊高齢者の搜索依頼や協力要請の連絡が役場に入った場合、認知症高齢者等の担当窓口の健康福祉課介護保険グループに連絡が入り、協力団体や協力員に搜索の協力依頼を行います。

状況により職員の動員や消防への協力要請、交通機関に連絡をして協力を求めています。

今年度から町は高齢者が徘徊等により行方所在不明になった場合に、協力団体（※1）や個人の協力員（※2）の協力を得ながら連携し行方不明者の搜索にあたり、安平町内で早期に発見、無事保護ができるように安平町徘徊高齢者等SOSネットワークづくりに取り組みます。

このように協力団体や協力員、関係機関と連携を図り搜索活動を行います。行方不明者がどこに居ても早期に発見できるように、安平町全域にネットワークをつくることを目標に取り組みますので、多くの団体や町民の方の登録をお願いいたします。



搜索依頼メール受信イメージ